

令和3年度 那覇市、南部6市町在宅医療・介護連携推進事業  
那覇市・南部6市町 合同研修会  
『 高齢者福祉施設におけるクラスター発生防止対策 』  
～関係機関との連携と退院基準～

演題：『 新型コロナウイルスの対策／退院基準／ワクチンについて 』  
講師：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター  
小児感染症内科／感染制御センター 張 慶哲 氏

- 日 時：令和3年4月12日（月） 午後7時00分～8時30分
- 場 所：Zoom ウェビナーを使用しているオンライン研修会
- 参加者：193名（那覇市76名、南部6市町117名）
- 種 別：医療機関19名、入居（入所）施設72名、通所サービス事業所30名、  
訪問サービス事業所14名、居宅介護支援事業所18名、薬局4名、  
行政10名、地域包括支援センター20名、その他6名



司会：嘉数 朗 氏



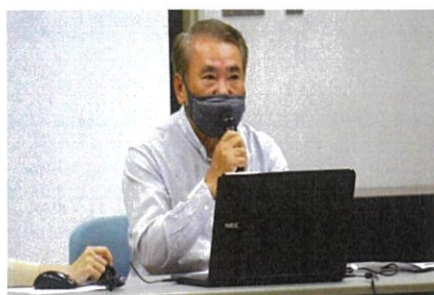
開会挨拶：湧上 民雄 氏



閉会挨拶：喜納 美津男 氏



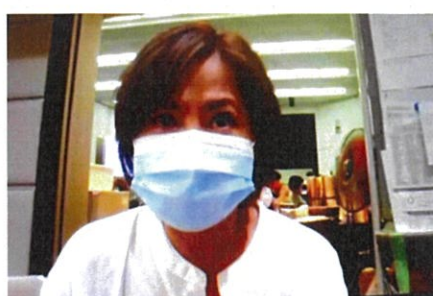
事例報告①：瀬長 永春 氏



事例報告②：下里 博昭 氏



那覇市：上原 氏



県対策支援班：井口 氏



県対策支援班：長濱 氏



講師：張 慶哲 氏

日時：令和3年4月12日（月）19：00～20：30

方法：オンライン配信（那覇市医師会）

参加申込み者：193名

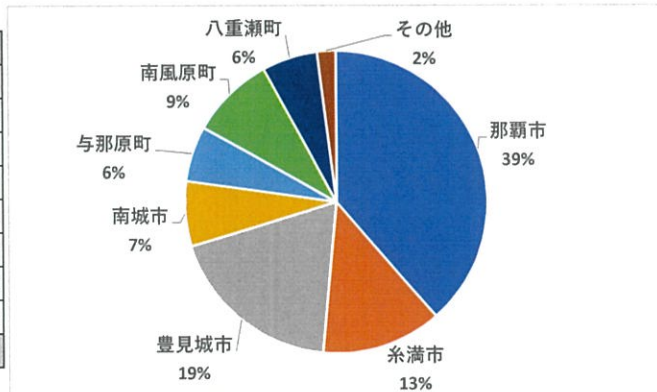
アンケート回答者：54名

### 1. 職種

	人数	割合
介護職	4	7%
施設管理者・経営者	11	20%
医師	3	6%
看護師	8	15%
保健師	2	4%
MSW	4	7%
ケアマネ・ケアプランナー	9	17%
リハビリ	1	2%
薬剤師	2	4%
社会福祉士	3	6%
行政	4	7%
その他	3	6%
合計	54	100%

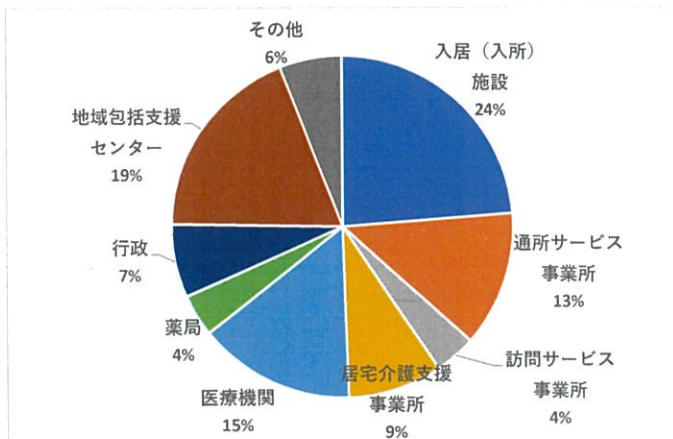
### 2. 所属機関の所在地

	人数	割合
那覇市	21	39%
糸満市	7	13%
豊見城市	10	19%
南城市	4	7%
与那原町	3	6%
南風原町	5	9%
八重瀬町	3	6%
その他	1	2%
合計	54	100%



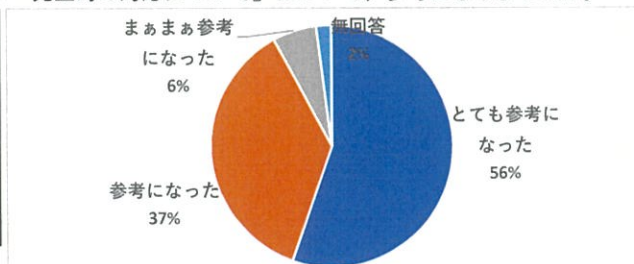
### 3. 所属機関の種別

	人数	割合
入居（入所）施設	13	24%
通所サービス事業所	7	13%
訪問サービス事業所	2	4%
居宅介護支援事業所	5	9%
医療機関	8	15%
薬局	2	4%
行政	4	7%
地域包括支援センター	10	19%
その他	3	6%
合計	54	100%



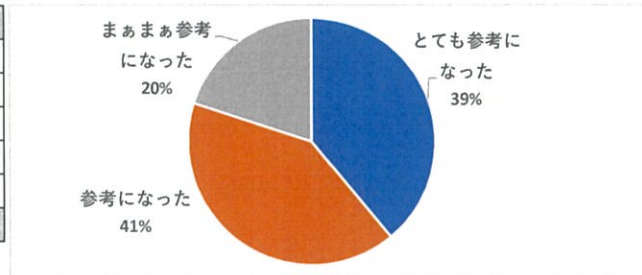
### 4. 演題1：事例報告『高齢者施設におけるクラスター発生時の対応について』について、参考になりましたか。

	人数	割合
とても参考になった	30	56%
参考になった	20	37%
まあまあ参考になった	3	6%
参考にならない	0	0%
無回答	1	2%
合計	54	100%



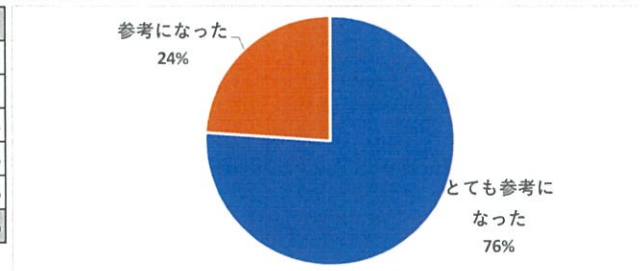
5. 演題Ⅱ：行政説明について、参考になりましたか。

	人数	割合
とても参考になった	21	39%
参考になった	22	41%
まあまあ参考になった	11	20%
参考にならない	0	0%
無回答	0	0%
合計	54	100%



6. 演題Ⅲ：『新型コロナウイルス感染症治療後の退院基準について』（講師：張慶哲氏）について、参考になりましたか。

	人数	割合
とても参考になった	41	76%
参考になった	13	24%
まあまあ参考になった	0	0%
参考にならない	0	0%
無回答	0	0%
合計	54	100%



7. 本研修会全体を通して、ご意見・ご感想がありましたら、ご記入ください。

- ・ 貴重な研修ありがとうございました。貴重な事例や県の対策、保健所での調査や対応、病院の退院基準などとてもわかりやすく、今後当事業所内や利用者支援を行っていく中でしっかりと感染対策を行い、自らのクラスター発生防止に努めていきたいと思いました。
- ・ ワクチン接種の大切さがよく理解できました。特に、ワクチン接種後のコロナ発症率が95%減少することを示した表は、接種を迷う方に説明する際に活用したいと思いました。貴重なお話ありがとうございました。体験を話して下さった施設職員の方々も、お疲れのところありがとうございました。
- ・ 介護施設やサ高住において、クラスター発生時には、どのように勤務を配置や調整したらいいのか、悩んでいます。是非体験談を聞かせてください。お願いします。
- ・ 現場、行政、専門医からそれぞれの話があり、とても分かりやすく、現場に活かせる事が多かったです。施設のスタッフにも共有していきたいと思います。有難うございました。
- ・ 大変貴重なご講義ありがとうございました。保険調剤薬局においてもクラスターが発生した場合の対処法を店舗で明確化していく必要があると感じました。また定期的な共有出来る機会があれば幸いです。
- ・ 内容はすごく濃ゆかったけど時間が短くて、情報量が多くて印象が薄れた気がします。施設の切実な思いや大変な状況が痛いくらい伝わってきました。関係機関、周りに言われた心無い言葉。情報が錯綜して混乱した状況など、もっと具体的に聞きたかったですが、答えにくいかな、とも思い、質問しにくかったです。保健所やコロナ対策本部、行政、等。多くの関係機関が絡むため、かえって混乱することもあるのでしょうか。
- ・ コロナ感染者が急増する一方で、コロナ慣れしている状況も見受けられ、今回の研修には改めて身の引き締まる思いを感じました。コロナにかからない、移さないためにも、感染症対策を十分に行っていきたいと思えます。ありがとうございました。
- ・ 勉強になりました。また開催してください。
- ・ 連携し情報共有など大切だと感じました。お疲れさまでした。

- ・ 張先生の講演とても参考になりました。地域包括支援センターの中で高齢者の通いの場に関わっていますが、コロナ禍での不安が拭えずに地域の通いの場が閉鎖傾向になっています。コロナ禍での2次的な影響が高齢者の虚弱へつながっているのが現状に思えます。先生の講演の中で正しい感染予防や知識をつけることで、少しでもひきこもる高齢者、感染不安な高齢者への後押しができたらと思いました。貴重なご講演ありがとうございました。
- ・ 正しい知識を得て、理解することで感染対策につなげていきたい。基本を徹底し継続していくことが大事だと改めて感じました。研修ありがとうございました。
- ・ コロナウイルスワクチン接種の説明を利用者家族へしている所で、大変役に立てそうである。特に利用者は副反応情報に関心が強く接種に消極的な状況であった。
- ・ 事例提供くださった皆様、本当にお話し下さりありがとうございます。
- ・ 施設や事業所においては、消毒剤の選択（掃除、手指消毒の用途に応じた）や、飲食の場面、カラオケなどの活動において、まだまだ共通認識が持てないで苦慮している。これを機に今一度基本を見直していきたい。
- ・ 基本に忠実にという観点で、日々の対応を見直していきたいと思いました。
- ・ クラスター発生施設の職員の方々の現場の声がとても参考になりました。
- ・ 改めて自身の事業所の対応が大丈夫かどうか、皆で確認しあえることができたと思う。  
あと、現場でクラスターが発生した時の大変さが身につまされた。自身のところで起こった場合を想像して恐ろしくなった。実際に起こったところの事例を聞くことができ大変勉強になった。
- ・ 実際のクラスターが発生した事業所の事例報告は、当時の混乱や逼迫した状況が鮮明に伝わり、職員の皆さん始めとても苦労されたのだと感じました。行政でも土日関係なく物資の提供などを行われている事、保健所の動きなども知れて良かったです。張先生の講義は医療機関で働く身として、手指消毒など今一度見直す必要性を感じ、陽性者・濃厚接触者などそれぞれの自粛期間を見直し、過度な対策にならないように心がけていきたいと大変勉強になりました。企画運営講義してくださった方々、ありがとうございました。お疲れ様です。
- ・ コロナワクチン接種の問診の際、接種不可の説明をするはっきりした基準がほしい。
- ・ 事業所で再度感染対策確認したいと思います。分かりやすい講義ありがとうございました。
- ・ これまでのクラスター発生に対して行政の動き、医師・看護師などの派遣体制などのご活躍ご苦労様でした。介護福祉施設や小規模病院などはそれらの方々の力をかりて積極的な予防策をとれるような流れを再度、構築しても良いかと思っています。クラスター発生させないという自信が持てたらいいともっています。今回のような取り組みは、南部管轄だけでなく、県全体で情報共有してもよさそうですね。ありがとうございました。

令和3年度 那覇市、南部6市町在宅医療・介護連携推進事業  
『高齢者福祉施設におけるクラスター発生防止対策～関係機関との連携と退院基準～』  
那覇市・南部地区合同 WEB 研修会 質疑応答

Q1. ワクチン接種後に、濃厚接種者となった場合も、自宅待機期間は14日間になりますか。

回答者：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 張 慶哲氏

A1. 現時点では、そのようになる。ワクチン接種が進めば、状況は変わってくると考える。

Q2. 高齢者施設職員（症状なし）の子供が濃厚接触者（症状なし PCR検査未）仕事をしても良いか？

回答者：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 張 慶哲氏

A2. 当院では、職員自身に症状がない場合は、家族が濃厚接触者という時点では就業制限はしていない。  
家族が陽性者になった場合、自身は濃厚接触者となるため、その段階になったら就業はできない。

Q3. 陽性者は症状改善後72時間後から就業制限解除とのことでしたが、濃厚接触者に関しては無条件で14日間との指示をそれぞれいただきましたが、張先生のお話に基づけば、14日間にこだわる必要は無いと考えてもよろしいでしょうか？

回答者：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 張 慶哲氏

A3. 講義内で話した内容は陽性者の場合である。濃厚接触者の場合は14日間自宅待機ということである。

Q4. スタッフで風邪症状などが出た際に休ませることが大切だとは思いますが、こちらの症状は、下痢や嘔吐なども含めた、身体症状全般になりますでしょうか？あまり見たことない症状などあれば教えてほしいです。

回答者：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 張 慶哲氏

A4. 当院では、熱・咳・倦怠感のいずれかがあれば休ませている。下痢や嘔吐などの場合は、新型コロナ以外の感染症（ノロウイルス等）の疑いもあるため、休ませた方がよい。

Q5. 症状が出たスタッフが、病院受診した際に、胃腸炎や上部気道炎など別の疾患で診断された場合も、PCR検査結果関係なく、予防的に休ませた方がよいという理解でよろしいでしょうか？

回答者：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 張 慶哲氏

A5. 症状がピークを越え落ち着くまでは休ませた方がよい。職員が休みやすい職場環境を作ることも重要である。PCR検査の結果が陽性・陰性に関わらず、様々な感染症が入居（入所）者に広がることを予防するためにも休める職場環境にすることが重要である。

Q6. コロナワクチンが信用できないと拒否する入居者、家族に対してどのような根拠や文書を用い説明したほうがよいでしょうか？

回答者：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 張 慶哲氏

A6. きちんと説明をすることで理解していただける。専門家会議からも接種依頼の文書を出す予定である。専門家が推奨していることを伝えていただきたい。